



スピリチュアルな 生き方とは、 あくまでも自分自身 で自分を癒すこと

ファッションデザイナー
アダム・ジョーンズ

通訳 谷崎智美 写真 内橋美智子
取材協力 ビズネア磯野敦子

Christian DiorやKENZOといった、パリのファッション業界で仕事をしてきたアダム・ジョーンズ氏。彼は癒しのエネルギーを、ニットの素材の中にインプリントすることを思いついた。直感に導かれながら、完成したヤーン・コレクションのセーターとショール。スピリチュアルな癒しの世界と一般社会の橋渡しをするのが、自分の天命であると語ってくれた。

人を癒し、自分を深く
知る入り口になる衣服

—癒しのニットというアイデアは、どのように生まれたのですか。

アダム パリコレでデザインするのはとても楽しいのですが、私は毎回、需要に応えるために何かを作り出さなければならぬという、強いストレスにさらされてきました。そんななかで、もっと深いところに人生の意味を求めたいと葛藤を感じるようになっていたのです。

その頃、妹が重度のうつになったことで、ヒーラーであるイナ・シーガルさんと出会いました。イナさんは教えるだけでなく、個人的なヒーリングはしないのですが、妹を助けていただき本当にありがたかったです。お会いしてみると、彼女はとても楽しい人でした。ワークシヨップにも誘われたのですが、当時はまだ、スピリチュアルな世界にかかわることは頑固に抵抗していました。それでも「とにかく一度来てください」と誘われるので、もし私が嫌だと思ったら

そこで退場しても悪くならないという条件で参加しました。

当日は、始まって35分で家に帰ろうとしたのですが、会場から外に出ようとすると、足が前へ動かないのです。それで、会場に戻る、また帰ろうとする。それを午前中だけで3回繰り返しました。イナさんに「ここにいることにコミットしなさい」と言われ、最後には帰るのをあきらめました。

ワークシヨップで瞑想をして「私の目の前に大きな目が見えたら、「それはあなたの第3の目じゃないですか」と言われて、「へえ」という感じでした。次は、知らない誰かの写真を渡されて、その人について思いついたことを伝えるというワークでした。わかるはずがないと思ったのですが、目を閉じてみると自動的にいろいろな情報が湧いてきて、「飛行機が嫌いで、身体がこうで……」と言ったら、それが全部合っていたんです。想像していたよりもすごいことが起きていて、自分が抵抗したら、流れが複雑になるだけだった、そのと

き思いました。

30人のヒーラーによる癒しのエネルギー

アダム いまではイナさんは非常にいいお友達で、彼女のワークシヨップはすべて受講しています。彼女が南アメリカとスペインとフランスに教えに行くときには、アシスタントとして同行しています。こういうふうにはヒーラーやスピリチュアルな世界の人に会うことが多くなり、いろいろな人が「スピリチュアルな意味をもっている服があればいいのに」と言うのを聞いていました。それで、ある朝、起きたときに「そうだ、本当に、ヒーリングエネルギーを貯蔵している状態で着られる服ができるんじゃないか」と閃いたのです。それも、ただ、「これを着たら、あなたのガンは治ります」というような服ではなく、その人がもっている力をさらに増幅させるような衣服を作りたかったのです。よくあることですが、ワークにくる人で、結局は自分でやるうとしない、自分を癒してもらって、「あなたはもう大丈夫だ

よ」と言って欲しい人がとても多い。でも私は、それはスピリチュアルな生き方ではないと思います。スピリチュアルな生き方とは、あくまでも自分自身で自分を癒すことだと思っているからです。ですから、自分を深く知っていくための入口として役立つものを作りたかったのです。

——閃きを製品にするまでに、アダムさんは2年しかかかっていないそうですね。

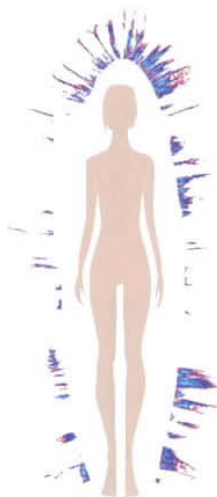
アダム 長年この業界にいますので、ニットに関しては熟知しています。私自身に癒しのニットを作るといふ強烈なアイデアがあり、いろいろな人にそのアイデアを提案することによって、みんなが私の熱意に共感してくれて、いつしよにやってみようと協力してくれました。それでこのように短期間で完成できたのです。あらゆる経験に無駄はないとよく言われる通り、いままでやってきたことのすべてがこの生地が集まっています。癒しのエネルギーを入れるのは、まだ誰もやったことがない未知の領域ですから、信念が大きな

力になりました。

私は量子力学に興味があるのですが、偶然読んだ記事に、スタンフォード大学のウィリアム・テイラー博士の研究がありました。それは、研究者が意図をもつことで、水のPHバランスが変わる結果が出た実験です。

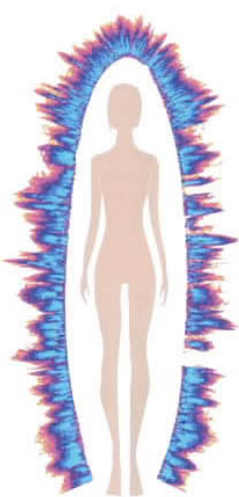
人間の身体はほとんどが水分でできているので、何らかの材料を見つけたことができれば、ヒーリングのエネルギーを蓄えた糸で、人を癒す衣服ができるのではないかと考えました。また、江本勝博士の、水に對

エネルギーフィールド(オーラ)の写真。ヤーンライト・コレクティブのセーターを着る前の状態。



(前)

ヤーンライト・コレクティブのセーターを着ると、オーラは大きく、明るく、色も鮮やかになった。

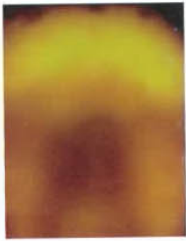


(後)

美しく、柔かくて高級感のある糸は、世界でもトップクラスのイタリアの工場で作られている。



(後)



(前)



ドイツの科学者に、エネルギーフィールドを撮影する実験を依頼。右の暗く赤いオーラは、セーターを着る前の写真。忙しく働くような状態であることを表している。左の黄色のオーラは、ヤーンライト・コレクティブのセーターを着た後の写真。心が安定し、しっかりと地に足がついた状態を表している。

とによって、水の結晶が変わるという研究を知りました。人体のおよそ78パーセントが水分ですから、衣服からも影響を受けると強い確信を得ました。

——系にヒーリングエネルギーを入れるのは、どうしているのですか。

アダム 系のいちばんコアになる部分にカーボンを使っています。全体の糸を100パーセントとしますと、使われているカーボンは4パーセント。そのほかは竹の繊維、カシミアです。糸の中心、心臓部にあたるところに、カーボンファイバーを使い、そこにヒーリングエネルギー

が加えられたわけです。さまざまな手法のヒーラー30人に集まってもらい、宇宙からのヒーリングエネルギーを糸の中に放射してもらったのです。そのとき、エネルギーのバランスを整えること、この生地寿命と同じくらいその効果が続くことも意図してもらいました。

——それは、ニットを着た人のバランスを整えるということですか。
アダム このセーターは、それ

を身につけた方のバランスを整え、まさにヒーリングを受けているのと同じ感覚になるように作られています。たとえば、うつ状態である、身体の調子が悪い、非常に疲労感が強い、ストレスを抱えているなど、いろいろあるかもしれませんが、健康な状態になるためには、バランスを取り戻せばいいわけですね。本来のバランスの状態に戻していき、ヒーラーのセッションを受けたのと同じ効果があるということです。

——本当にそんな効果を感じられるのだとしたら、すごいですね。
アダム ええ、私にも疑う気持ちはありません。本当に価値のあるものができたのかと。でき上がったセーターを試してみたところ、その瞬間素晴らしい、本当に良質なエネルギーが自分の身体に流れていくのを感じました。スカーフに手をかざしましたら、確かにエネルギーを感じるので、ああ本当によかった、自分が作ったものが、ちゃんと自分が思ったような製品になったと確信し、安心しました。

もちろん科学的な分野から何らかの証明が取れるものかどうか、それを試しました。私が扱っているエネルギーは、非常に精妙なので、もしそれが証明されなかつたとしても、仕方がないと思っていましたけれども。

最初に、ミラノの産業研究所に2点送りました。一方は、ヒーリングのエネルギーを加えていない糸で作ったセーター、もうひとつは、ヒーリングエナジーを加えた糸で作ったものです。これは、電磁波をどの程度防ぐことができるかというテストです。もともと私は、カーボンが電磁波に対して、ある程度遮断する力があるということは知っ

ていました。電磁波の異なった周波数をどの程度防御するのか、その調査をしてもらいました。その透過率は、ただのカーボンで作った糸は、34パーセント。一方でヒーリングのエネルギーを転写した糸は、63パーセント。ほぼ2倍の効果があることが証明されました。それは驚くほどの結果で、間違いではないかとすぐ再テストをお願いしたくらいです。ごく普通の産業研究所でこれだけの結果が出るのなら、もしかしたら、計り知れない未知の効果があるかもしれないと思いました。なぜなら、1500年前に放射線量の話をしても、人々はその存在を知らなかつたわけですし、もちろん計測の技

セーターの糸はヒーリングエネルギーがためられたカーボン、竹の繊維、カシミアを紡績して作られている。





アダム・ジョーンズ ADAM JONES

英国人デザイナー。Christian DiorとKENZOのニット担当を経て、2001年に独自のブランド、Adam Jones Parisを立ち上げ、パリコレで活躍。心身ともに癒される衣服を作り出すというアイデアを得て、2年後に、癒しのエネルギーを込めた糸で、セーターと大判ショールを完成させる。2013年、ネットが発売を開始する。

ヤーンライト・コレクティブ YARNLIGHT COLLECTIVE
<http://www.yarnlightcollective.com>

術もありませんでした。それと同じことがいま、起きています。かもしれないのですから。サンプルを日本の江本博士にも送りました。私の作った生地の上で水を撮ると、きれいな結晶が鮮明に見える写真を送っていただきました。スタンフォード大学のティラー博士にも、検証をお願いしました。彼は水の成分を測る新しい機械を発明したのです。水が入っている容器のまわりに生地を巻いて、それによって内部の水が変わるのか実験をし、微量エネルギーが外部の生地からピーカー内の水へ伝導することを、数値として実

証するのに成功しました。

ドイツの科学者にも、身体エネルギーフィールドをカメラで撮影する実験をしてもらいました。これは、ヤーンライト・コレクティブのセーターを着た後のオーラ写真は大きく明るく、色も鮮やかになっているのがわかりました。

意図することで エネルギーは増幅する

アダム これらは、科学的な実証実験ですが、私が最も勇気づけられたのは、みなさんからのフィードバックです。40人の女性に着てもらった感想ですが、それは私にとって非常にうれいものでした。すべてポジティブで、たとえば、ある女性は、非常に困難な離婚の調停中でした。精神的に追い詰められている状態のときに、このセーターを着たら、守られていると感じて自分に戻れたとか。あるいは、3人が同じ感想を寄せてきたのですが、3人とも大衆の前で講演をしなければならぬ状況で、そのセーターを着たとたんにセンタリングができ、講演に対して

自信がもて、実際にうまくいったという話してくれました。

この人たちは、普段からスピリチュアルな生活をしているわけではなくて、ごく普通の一般人です。

また、よく飛行機で長時間移動する人は、飛行スケジュールが変わって困ったときに、セーターを着たら、気持ちが非常に落ち着いて、快適な空の旅が楽しめたと言っていました。

こうした感想の中で、私が重視しているのは、着ることによって常に気持ちが穏やかになることです。それはたとえば、瞑想をしていらっしやる方々でしたら、いままでもより早く、瞑想の状況に入れますし、そうでない方々は、たくさんストレスなどを抱えているときでも、気持ちがスッキリするときも、気がこのセーターの特徴だと思います。そして、ご自分がどうなりたいかということを用意していただくことによって、それがいっそう加速していくことになりやす。

常に覚えておきたいのは、現実実は自分が作っているというこ

とです。みなさんが自分自身の意図を明確にし、本当に生きたい生き方をしてみてください、それをこのセーターが後押しをするということだと思っています。

—心のあり方を着ているものがサポートしてくれる、こんな時代が来るなんて、本当に驚きです。

アダム こういう製品を世の中に出して、人が病気になることなく、着ることで自然にスピリチュアルなものに興味をもっていただけたらすごくいいと思うんです。誰もがマインドフルに戻れると、それを維持することができると思うんです。

—ファッションだけに終わらないで、日常生活のあらゆるところに、同じようなコンセプトでいるいろんな製品が作られていくような気がしますね。

アダム 本当にそう思います。癒しと物作りを結びつけていくことが、求められているということだと思えます。これから先、どんな方向に進んでいくのかわかりませんが、私自身もやり続けていくことが、自分の天命だと思っています。